

さっぽろ雪まつり - 氷像の制作方法やすずきの会場の内容

すずきのアイスワールドでの氷の彫刻は、して知られる雪まつりの重要な一部として発展を遂げました。氷の彫刻は、雪まつりと同じく、冬の資源を最大限活用しています。それは利用可能な豊富な氷と、フェスティバル期間を通して完成した氷像を無傷に保つことが可能な低い気温です。

展示されている氷像は精巧で非常に緻密に作られています。海の生き物からオートバイ、マンガやアニメのキャラクター、そして現実と想像上の動物まですべてがモチーフとなっています。突然凍った海から取ったスラブのように、魚や貝が埋め込まれている透き通った氷のブロックも展示されています。氷像のサイズは、高さ1メートル未満のものもあれば、塔や来場者に飲み物を提供するアイスバーなどの建物もあり、大小さまざまです。

何十年もの間、シェフがホテルの宴会の彫刻や刺身の盛り合わせのために大きな氷の塊を彫っていたため、氷像はすずきでは伝統として確立されています。氷像を専門とする日本氷彫刻会と呼ばれる地元の組織もあるほどです。

来場者は、彫刻家が積み重ねられた氷のスラブを彫り進めて形を作る、この珍しいアートのデモンストレーションを見ることができます。最高の氷像を決定するためのコンテストは、祭りの最初の2日間に開催されます。来場者は、設置されている5つの投票箱のいずれかでお気に入りの氷像に投票できます。